

第6期 第7回「中央区自立支援協議会」議事要旨

1 日時：令和2年2月18日（火） 午後6時30分から午後8時00分

2 会場：福祉センター3階 会議室

3 議事

(1) 中央区障害者（児）実態調査について【資料1】

(2) 部会報告について【資料2】

(3) その他

4 出席者

委員 17名

是枝会長、齋藤副会長、上田委員、橋本委員、草川委員、相澤委員、前場委員、磯野委員、沼崎委員、佐野委員、小林委員、佐藤委員、丸物委員、古田島委員、田中委員、山本委員、長嶋委員

事務局 10名

遠藤障害者福祉課長、北澤福祉センター所長(子ども発達支援センター所長兼務)、平川障害者福祉係長、川原障害者給付指導係長、山崎相談支援係長、水村福祉センター管理係長、佐藤福祉センター支援係長、小林子ども発達支援センター発達支援係長、田中主事、清水主事

傍聴人 1名

5 要旨

○齋藤副会長あいさつ

- ・委員の皆様ご出席いただきありがとうございます。是枝会長が来られるまでの間、司会をやらせていただく。

○田中祉部保険部長あいさつ

- ・本日は資料のとおり盛り沢山の内容となっている。障害者（児）実態調査のほか、各部会からの一年間の活動報告をさせていただくので忌憚のない意見を頂きたい。
- ・現在、コロナウィルス対策で区役所の方も情報収集に苦勞しているが、委員の皆様にもできるだけ早い段階で、より正確な情報を提供していきたい。

○変更になった委員の紹介

- ・民生・児童委員協議会の京橋、日本橋、月島地域の各障害者福祉部会長の交代に

伴い、本協議会の委員も変更となったため、新たに委員となった方の紹介と挨拶を行った。

(1) 中央区障害者（児）実態調査について【資料1】

○遠藤障害者福祉課長より説明

- ・「中央区障害者（児）実態調査」の調査票の配布数と有効回答数、主な調査項目ごとの概要と前回調査との比較などについて説明を行う。

○北澤子ども発達支援センター所長より説明

- ・「子どもの育ちや発達の相談に関する実態調査」の主な調査項目ごとの概要と前回調査との比較などについて説明を行う。

(是枝会長) 今の説明を受けて、意見、質問がある方はお願いしたい。少し分量があるため、消化するのに時間がかかると思うが、基本的には調査結果として、前回調査との比較を行うことで見えてくる課題があると考え。特に意見等がないようなので、この調査報告書（案）で進めていただきたい。

(2) 部会報告について【資料2】

○障害者（児）サービス部会（小林委員より報告）

- ・障害者（児）サービス部会から地域生活拠点について説明。レインボーハウス明石での緊急時の受け入れについて情報共有を図り、緊急時対応の行政のイニシアティブの仕組みや、事前に関係者が集まって支援について話し合うクライシスプランの効果などについて意見交換を行った
- ・来年度は、精神障害がある保護者の子育てサービスについて取り上げていくことや、他区でやっているような好事例を用いた意見交換を実施していきたい。

○地域移行・地域定着部会（齋藤委員より報告）

- ・地域移行・地域定着部会について説明。地域生活支援拠点については、障害者福祉課と基幹相談支援センターが中心となり体制づくりを行い、全体的にはこれからネットワークが出来上がって動き出すイメージとなっている。
- ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについての検討では、特に精神障害者の住まいの確保として区住宅課や宅建協会などとも連携を図る取組、また、「ポケット中央」が中心となるピアサポーターの養成に関わる事業や、スタッフとしての活用などについて検討を行っているところである。

○就労支援部会（丸物部会長より報告）

- ・就労支援部会について説明。年間8回の部会と2回の催しを実施している。前回と比較すると、障害者向けの就労支援の催し「まるごと体験フェスタ 2019」では、

障害者に限定せず引きこもりの方などへ対象を拡大し、相談コーナーの内容をパンフレットに載せてわかりやすく案内するなどの工夫を図り、一般参加者が66名から88名に増えた。

- ・働いている障害者やこれから働こうという方を激励する催し「アラジンドットコム」では、これまでの知的障害者だけではなく、視覚障害や精神障害のある方も参加し層が広がってきて良い方向に向かっていると感じた。

○医療的ケア児等支援連携部会（草川部会長より報告）

- ・医療的ケア児等支援連携部会について説明。今年度は3回部会を実施し、医療的ケア児の把握や、関係機がどのような連携によりサポートしていくのかを中心に検討を行ってきた。また、子ども発達支援センターをはじめ、相談支援事業所の医療的ケアコーディネーターが中心となり連携を図っていく準備ができてきた。
- ・医療的ケア児と一言で言っても、様々な子どもがいるので、具体的事例に対して、それぞれの立場から意見を出し合って理解を深めながら、今後部会としてどういった対応を行っていくのか検討している段階である。

【質疑・意見等】

(委員) アラジンドットコムはすごく生きがいだという利用者がいる。私が世話人をしているグループホームからも数人参加していて、表彰状が一年間仕事を頑張る支えとなっている。また、自分のお金を出して美味しいものを食べながらゲームをやって、賞状をもらい、大人っぽく堂々と帰ってくる。それが凄く力になっているので、是非この先もどんどん広げて応援していただけたらありがたい。

(委員) 実態調査報告書の全体的な報告に関しては、前回との比較を取り入れていて分かりやすく、具体的に全体が見えるような内容になっていた。部会の報告もテーマに沿って斬新な取組がされていると感じた。今後の事として、本人だけではなく家族の支援というのもとても重要なことだと思う。また、ネットワークづくりという事で、ピアサポートなど当事者の参加が課題となっているが、若い層の活用というのも重要であり、ぜひ取り組んでいってほしいと思う。

⇒（是枝会長）貴重な意見であり、今後、委員として精神障害の当事者の方にピアサポーターとして参加をお願いするなど協議会への反映も様々に考えられると思う。

(3) その他

○遠藤障害者福祉課長より報告

- ・本日説明した調査の結果については、もう一度事務局の方で精査し調査報告書としてまとめ、4月中に皆様へ配布する予定である。次回、第8回の協議会は令和2年度になり、5月中旬を予定している。

以上